

第 22回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

委員会の検討経緯と論点

- これまでの検討経緯
- 今回の論点

令和2年7月27日

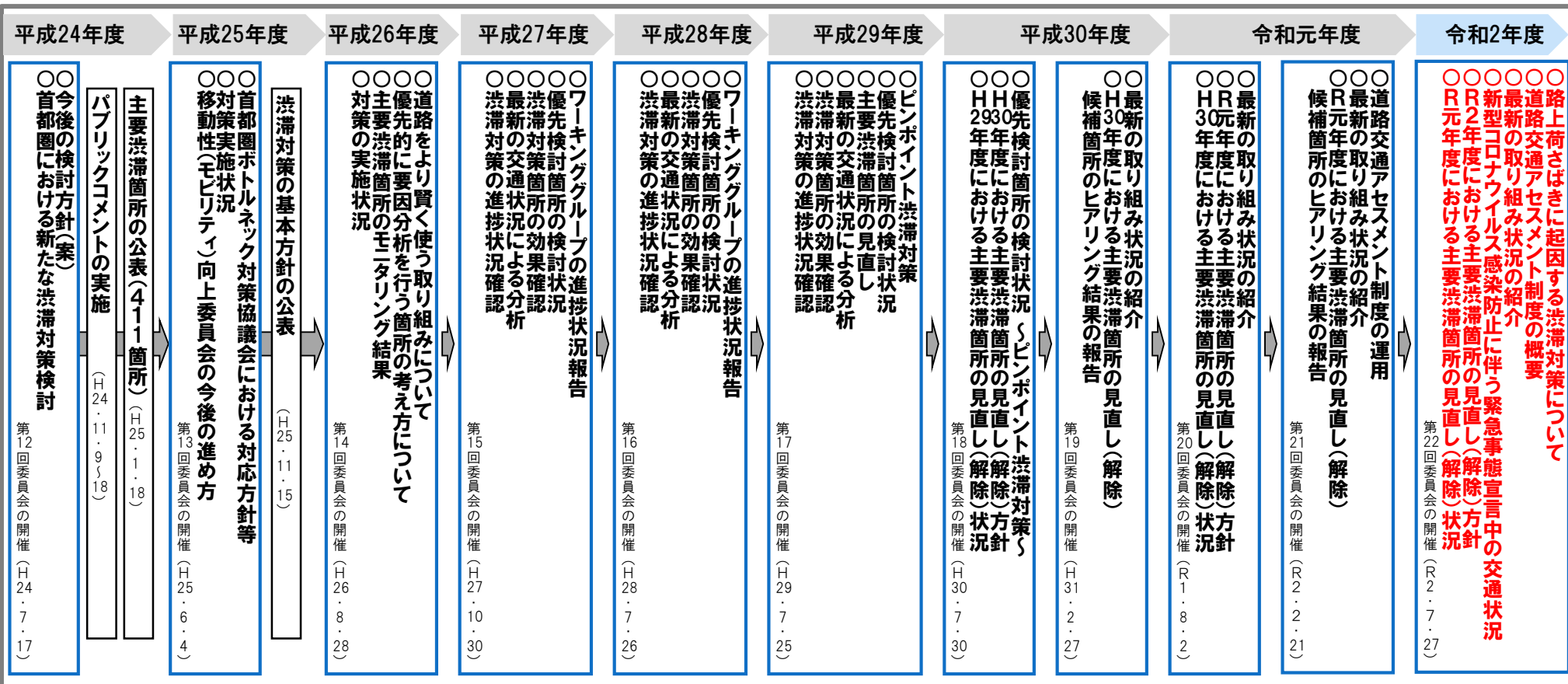
1 委員会の検討経緯と論点

1-1 これまでの検討経緯

【渋滞対策の方針】

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細データが容易に取得可能となるなど、観測環境における大きな改善等を踏まえ、課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組むこととした

【これまでの取り組みの流れ】



1 委員会の検討経緯と論点

1-2 今回の論点

○これまでの取り組みを踏まえて、以下の点について意見交換を実施していただきたい。

【議論していただく内容】

👉 令和2年度での見直し(解除)について(資料3)

- ・主要渋滞箇所のモニタリング結果
- ・見直し(解除)候補箇所
- ・令和2年度での見直し(解除)の状況

【今回報告する内容】

👉 令和元年度での見直し(解除)の状況(資料2)

👉 新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言期間中の交通状況(資料4)

👉 最近の取り組み状況の紹介(資料5)

- ・横浜北西線
- ・国道1号 ふじさわ 藤沢バイパス出口交差点におけるピンポイント渋滞対策

👉 道路交通アセスメント制度の概要(資料6)

👉 路上荷さばきに起因する渋滞対策について(資料7)